

アロマの女王と呼ばれる
 ダマスクバラ花約1万個が一つの
 天然香水に。

ダマスクバラ花は、アロマの中で女王と言われ、さまざまな肌質に適します。お肌を引き締め、すこやかにしてキメを整え、潤いと透明感を届け、やさしい天然植物成分でありながら理想のエイジングケアとしての役割を果たします。その素晴らしい香りは、私たちの身の心の深くに影響を与えます。

ローズの花びら3・5〜5トンから、ようやく約1キロのダマスクバラ花油が抽出され、“液体の宝石”と呼ばれます。

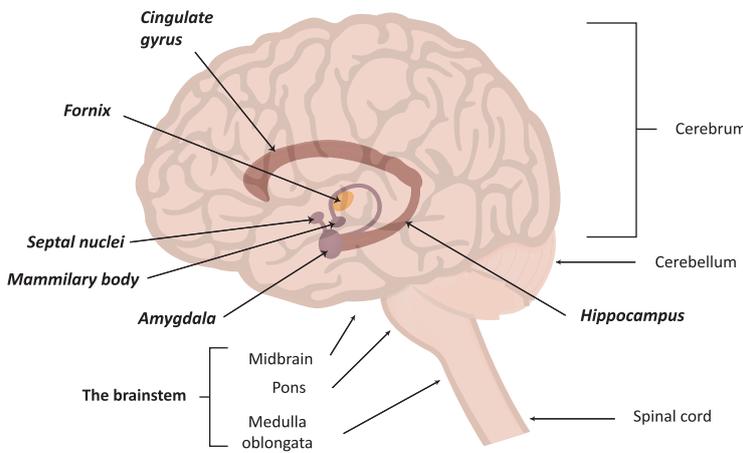
ローズドブルークレールには、1瓶に約1万個のダマスクバラ花が詰まっています。



香りは美しさを深部から育む

嗅覚は人間の五感のなかで最も原始的で本能的な感覚です。香りは脳に直接作用します。香りは鼻腔から脳の中央深部にある大脳辺縁系へ到達し、さらに視床下部へと伝わります。大脳辺縁系は、食欲、喜怒哀楽など本能に基づく行動や情緒、自律機能に大切な役割を果たしています。視床下部は自律神経の最高中枢であり、交感神経と副交感神経のバランスは内臓の健康や免疫力に大きく関わり、直接的に肌の状態に影響します。

The Limbic System



脳の深部に入る香りを上手に使うことによって、私たちはお肌を根本から美しくして、同時に心身ともに女性らしさを得ることができます。